

6. 進級再試験制度について(3年次生)

3年次生で、第3学年終了時に進級条件に**2科目以内**の不足を生じた者(春学期科目及び秋学期科目はそれぞれ1科目として数えます)について、以下により進級再試験を実施します。

3年次生は、進級発表日に必ず自分で進級の可否を確認してください。**再試験受験の申込みは進級発表当日、本人に限って受付けます。**再試験該当者であっても、進級の確認をせず再試験の申込みをしなかった者、再試験を受験しなかった者、再試験に不合格になった者は4年次に進級できません。

なお、進級再試験は、当該の3年次において履修登録をした科目に限ります。

また、**専門科目については、D評価を受けたもの**に限り、E評価科目は対象となりません。

(1)対象科目：

対 象 科 目		実施の有無
基礎科目	① 基礎科目0群	×
	② 基礎科目1～3群	×
	③ 基礎科目4群(春学期及び秋学期科目)※1	○
	④ 基礎科目5群	×
専門科目	⑤ ⑥～⑨を除く法学部主催専門科目	○
	⑥ 法学部専門科目のうち、経営学部との合併科目	×
	⑦ 他学部公開科目	×
	⑧ 総合科目 (総合科目の中の政治学科専門科目含む)	×
	⑨ 法学部専門科目のうち、春学期終了科目※2、レポート、平常点評価※3による科目	×
教職・資格科目	⑩ 教職科目・資格科目	×

※1 ただし、4群必要単位数を満たしていない場合に限りです。

※2 法学部専門科目の春学期終了科目(春学期科目・春学期集中科目等)は対象となりません。

※3 専門科目の「平常点評価」とは、授業内試験又は定期試験を実施せず、出席点やレポートなどの総合点で評価する方法です。平常点評価をする科目は、公共政策フィールドワーク、文章の書き方セミナー、演習、卒業論文、電算実習科目、外国書講読など。

(2)受験資格： 3年次生で再試験の対象となる科目(専門科目についてはD評価、基礎科目についてはDもしくはE評価を受けた科目)のうち、2科目についてC評価を得れば進級要件を満たす場合(春学期科目・秋学期科目はそれぞれ1科目として数えます)。

例：「中国語1Ⅰ」「中国語1Ⅱ」ともD評価の場合は2科目と数えます。

(3)試験方法： 筆記試験またはレポート

(4)試験日程： 進級再試験受験の申込み時に法学部窓口で連絡します。